

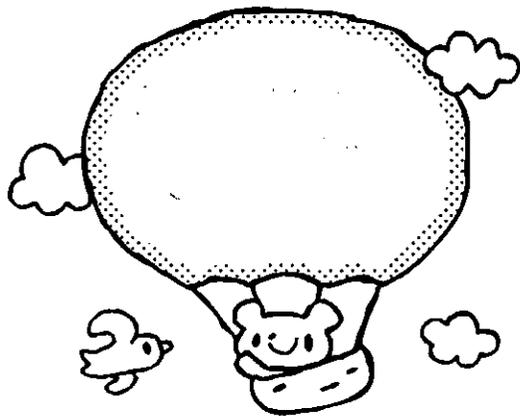


2020年5月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

新緑の青葉にすがすがしさを感じる時期になりました。園庭では鯉のぼりが気持ち良さそうに空を泳いでいますが、社会では新型コロナウイルスにより日々の安全に思いを巡らせることも多くあります。

保護者の方々におかれましては、家庭保育のご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今後も換気や消毒などをこまめに行い、健康に過ごせるよう留意していきます。また、久しぶりの登園に戸惑う子どもたちの気持ちに寄り添い、一人一人が安心できるようゆったりと過ごしていきたいと思えます。

5月生まれのおともだち



おたんじょうびおめでとう

おねがい

過ごしやすい日が増えてきました。肌着は半袖またはノースリーブ(キャミソール)で、Tシャツは長袖と半袖の両方をカゴに入れておいてください。その日の体調や気温で衣服の調節をします。



初めての靴の選び方

お子様が歩くようになったら外遊び用の靴をお持ちください。週始めに、ホワイトボード前に外遊び用の靴箱を用意しておくので、朝のお支度の際に入れてください。週末には持ち帰り、サイズや汚れの確認をよろしくお願ひします。

子どもの不安定な歩き方を支えるにはどんな靴が良いか…?

<おすすめはこんな靴!>

- ①かかと部分に「ヒールカウンター」が入っていて硬くなっている
かかとは靴の命です。この部分の作りがしっかりしていると足の骨を衝撃から守り、歩くときに左右にブレてしまうのを防いでくれます。かかと部分を右の絵のように横から押してみ、潰れなければ大丈夫です。
- ②マジックテープがしっかり止められる
大人がギュッとテープを締めて足首部分を固定すると、靴の中で足が前に滑らず足指を使って歩くことができます。マジックテープは2本以上あると、より安定します。
- ③靴底が、足指の付け根のところで曲がりやすくなっている
適切な位置で靴底が曲がることで、上手く地面を蹴り出すことができます。
- ④中敷きが取り外せる
中敷きにかかと部分を合わせて立った時、指先が5~10mm 余裕があるものがサイズの合った靴です。子どもの足の成長は早いので中敷きを取り外せるとこまめにチェックできて安心です。



☆「ファーストシューズ」は室内で靴の感触に慣れるためのものです。

外の地面を歩くときは、しっかりと衝撃を吸収できる靴を選びましょう。

☆足のサイズを無料で測ってくれるお店もあるので、ぜひ参考にしてみてください♪